

東京 2020 オリンピック・パラリンピックとアルゼンチン

保坂庄司

スポーツと平和の祭典東京 2020 オリンピック・パラリンピックは、新型コロナのパンデミックにより 1 年延期の上今夏開催されました。世界的な感染大流行が収まらず我が国でも変異株の感染が拡大する中での開催となり、安全な大会運営が危ぶまれ物議を醸しました。しかし外国選手団の移動などのバブル方式徹底をはじめ、無観客試合等様々な規制や工夫・努力等により感染拡大の封じ込めに成功、世界のアスリート達の競技は人々に感動や希望と学びなどをもたらしました。

そもそも東京 2020 は、2013 年 9 月ブエノスアイレスで開催された IOC 総会での大会誘致合戦の結果、ロゲ会長（当時）の “TOKIO” のアナウンスからスタートした経緯があり、当初からアルゼンチンと縁のある大会でした。

ちなみにアルゼンチンは 1900 年第 2 回パリ大会からオリンピックに参加、日本が金栗四三などを派遣し初参加した 1912 年第 5 回ストックホルム大会より 3 大会先んじています。又 1894 年 IOC 創設時のメンバー 12 か国の一つでもあります。

オリンピック開会式：陽気に入場するアルゼンチン選手団



アルゼンチンは長引く通貨危機に加え新型コロナの感染者数が世界十指に入る厳しい状況にありますが、本オリンピックに 181 名の大選手団で参加、開会式では堂々として躍動的な行進で大いに存在感を示していました。

競技では過去 4 大会連続で獲得してきた金メダルこそ逃がしましたが、団体競技で銀 1 個と銅 2 個、計 3 個のメダルを獲得しました。

女子ホッケーは決勝でオランダに僅差で敗れたものの堂々の銀メダル、男子バレーボール



は優勝したフランスに準決勝で当り完敗しましたが 3 位決定戦で従来の王者ブラジルに勝利して 1988 年以來の歓喜の銅メダル、男子 7 人制ラグビーは優勝したフィジーとの準決勝で敗れての銅メダルでした。

ところで女子ホッケーは予選で日本と戦い、日本守備陣の一瞬のスキを逃がさなかったアルゼンチンが決勝点を奪い、2-1 で善戦する日本を

退けましたが、日亜両チームの流れるようなフェアプレイの連続はホッケーファンを魅了しました。 [写真は対日本戦でのアルゼンチン決勝のゴール](#)

女子ホッケーチーム（ラス・レオナス）や柔道などの選手達がホストタウンの茨城県境町で事前キャンプを張りました。コロナ禍の為地域での親善交流が十分には出来なかつ

たものの、キャンプを引き上げ東京の選手村に移動する選手団のバスが、親善交流の中心である境町立長田小学校に立ち寄り、ホストタウン関係者や児童父兄他に見送られるシーンがテレビ報道されていました。

次にパラリンピックでは、アルゼンチンは団体競技のブラインドサッカーで銀メダルに輝き、個人競技で8個（競泳銀2個、テコンドー銅1個、陸上銀2個と銅3個）、合計9個のメダルを獲得しました。ブラインドサッカーはパラリンピックの最終日にブラジルと決勝を戦い惜しくも0-1で敗れての銀メダルでした。

男子ブラインドサッカー決勝アルゼンチン対ブラジル



先制のチャンス、惜しくも阻まれる

終盤の猛攻を凌ぐアルゼンチン

ブラインドサッカーについては、2018年の女子アルゼンチン選抜チーム来日親善試合に当協会でも支援活動を行った経緯がありますが、女子は世界的に競技人口が少ないため、本大会での女子の競技種目採用は見送りとなりました。なお2018年親善試合の運営に奔走したNPO法人がボランティアとして本大会を支援しており、そのボランティア達が上述男子ブラインドサッカー決勝戦でアルゼンチンチームの選手たちを全力でサポートしたエピソードを聞き及び、熱く込み上げるものがありました。



シシドカフカ、「ハンド・サイン」のパフォーマンス

パラリンピックの閉会式では、アルゼンチン在住経験がありドラマーや俳優等として幅広く活躍中のシシド・カフカが登場、多様性への讃歌が繰り返される中「ハンド・サイン」でパーカッション隊を華麗に指揮し、アルゼンチン仕込みの見事なパフォーマンスでフィナーレを盛り上げました。

こうして東京2020オリンピック・パラリンピックは新型コロナのパンデミックを克服して、無事2024年パリ大会に引き継がれました。

当協会は、本大会の掲げるレガシーとしての東京都教育委員会主催国際交流プロジェクトに参画しています。2019年に当協会渡部常務理事・伊藤理事他が大田区立萩中小学校で「遠くて近い国アルゼンチン」のタイトルで授業を実施して好評を博したことは既報の通りですが、本プロジェクトの趣旨に沿い、東京大会後も本プロジェクトを通じたアルゼンチン紹介、日亜両国の親善強化活動を継続して参ります。

(ほさかしょうじ：当協会常務理事)